

自社保有「東京・関西ユビキタスビル」の使用電力全てを 再生可能エネルギーに転換

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役(兼)社長執行役員 COO：水野 克己、以下：当社）は、2023年8月より、カードビジネス等のお客様と対応するコールセンター機能・オペレーション業務を行う約1,500名在籍の「東京ユビキタスビル」における使用電力（※1）の全量について、トラッキング付非化石証書（※2）を活用した実質再生可能エネルギー由来100%の電力（以下：再エネ電力）への切り替えを実施いたしました。

本取り組みにより、当社の事業活動におけるCO₂排出量（※3）は年間約38%（約1,435t-CO₂）削減され、当社全体の電力使用量に占める再エネ電力比率は約36%となる見込みです（2021年度比）。

また、2023年12月には東京と同機能で約1,000名在籍する「関西ユビキタスビル」への同程度の再エネ電力導入を予定しており、導入後の当社の事業活動におけるCO₂排出量（※3）は年間約58%（約2,193t-CO₂）削減、当社全体の電力使用量に占める再エネ電力比率は約61%となる見込みです（2021年度比）。

これは、当社が2022年6月から開示を始めた「気候関連財務情報開示タスクフォース（以下：TCFD）提言に沿った情報開示」における当社グループ6社の2030年GHG排出量削減目標42%のうち12%を削減できる計画となります。



東京ユビキタスビル（東京都中野区）

当社グループは、持続可能な社会の実現に向けて、TCFD提言への賛同およびTCFDコンソーシアムへの参画、TCFD提言に沿った情報開示のほか、「CDP気候変動2022」におけるBスコア獲得など強化しております。

また、2022年6月より決済データからCO₂排出量を可視化できるカーボンニュートラル視点のクレジットカード「SAISON CARD Digital for becoz」を発行するなど、CO₂排出量削減に向けた取り組みを積極的に進めております。

今後も、「サービス先端企業」という経営理念のもと、当社独自のノウハウ、経営資源、そして社員一人ひとりの経験を活かし、クレディセゾングループだからこそできる社会の発展・課題解決に向けて、日々の事業を通じて貢献することで、今よりもっと便利で豊かな持続可能な社会をつかってまいります。

- ※1 非常用自家発電を除く
- ※2 トラッキング付：非化石証書に対して非化石電源の電源種別・運転開始日などの情報を付与すること
非化石証書：発電時に石油や石炭などの化石燃料を使用せず、大気中の二酸化炭素を増加させない「非化石電源」で発電された電気から、発電時に二酸化炭素を排出しない「環境的な価値」を切り離して証書化したもの
- ※3 Scope1・2 合計

■当社グループのサステナビリティに関する取り組みについて

- ・サステナビリティ関連 <https://corporate.saisoncard.co.jp/sustainability/esg/>
- ・統合レポート https://corporate.saisoncard.co.jp/ir/integrated_report/
- ・環境への取り組み <https://corporate.saisoncard.co.jp/sustainability/environment/>
- ・クレディセゾン公式 note「セゾンの未来会議」 <https://note.saisoncard.co.jp/>